

第13回 日本水環境学会シンポジウム

主催：社団法人 日本水環境学会

共催：京都大学大学院地球環境学堂

京都大学大学院工学研究科

期日：2010年9月8日(水)～9日(木)

会場：京都大学吉田キャンパス(京都市左京区吉田本町)

ノンポイント汚染研究委員会セッション プログラム【案】

“ノンポイント汚染対策の現状とその展望”

日時：9月8日(水) 9:00～12:30

会場：E会場(総合研究④2F共通4)

09:00-09:05 挨拶 (駒井 幸雄/大阪工業大)

<セッション1(座長:山田 俊郎/岐阜大)>

09:05-09:25 滋賀県におけるノンポイント負荷対策の現状と課題

(大久保 卓也/滋賀県・琵琶湖環科研セ)

09:25-09:45 循環灌漑モデルの構築と対策効果予測

(佐藤 祐一/滋賀県・琵琶湖環科研セ)

09:45-10:05 クリーニング作物によるハウス土壌の面的浄化と収穫物資源化を
目指した組成解析

(井上 賢大/高知大院)

10:05-10:25 L-Q式の発想と経過

(橘 治国/北海道水文気候研・環境クリエイト)

<セッション1(座長:中島 典之/東京大院)>

10:35-10:55 琵琶湖・淀川水系におけるヨウ素および臭素化合物の発生構造

(越後 信哉/京都大院)

10:55-11:15 浸透施設によるノンポイント汚染制御研究の現状と課題(亜鉛を例とし
て)

(原田 茂樹/宮城大)

11:15-11:35 市街地面源負荷削減のための貯留・浸透対策の有効活用

(二瓶 泰雄/東京理科大)

11:35-11:55 流域水物質循環シミュレーションにおける市街地面源負荷削減対策
モデルの導入

(上原 浩/パシフィックコンサル)

12:05-12:30 総合討論(座長:古米 弘明/東京大院)